

岩倉市公共施設再配置計画に関する市民説明会 議事録

日時等	平成 29 年 5 月 13 日(土) 14:00~16:00 生涯学習センター 研修室 1・2
出席者	岩倉市議会議員 6 名 岩倉市公共施設再配置計画検討員会委員 6 名 市民 9 名

	<p>事務局より配布資料に基づき、下記の内容について説明を実施。</p> <p>(1) 岩倉市公共施設再配置計画の策定背景</p> <p>(2) 岩倉市公共施設等総合管理計画の内容</p> <p>(3) 岩倉市公共施設再配置計画の内容</p> <p>説明後、質疑応答を行った。</p>
市民① 事務局 市民① 事務局	<p>岩倉市が所有している施設はスライド⑩のものがすべてか？</p> <p>排水機場や公園のトイレなどを除く主な施設を記載している。</p> <p>各区が所有する集会所等は除いていると考えてよいか？</p> <p>対象とする施設は市が所有している施設としている。集会施設については、下水道の周辺整備に伴い整備され市で所有しているものなどを記載している。</p> <p>1次評価の結果、2次評価の対象から除外される施設が7施設ある。(みどりの家、くすのきの家、さくらの家、生涯学習センター、図書館、第三児童館、第四児童館)</p>
市民② 事務局	<p>市が保有する、道路、用水等の施設についての費用はどうなっているか？それらについてもお金がないのであれば、削減や市民のボランティア活動などが必要とおもわれる。また、様々な痛みを伴う計画となることから、誰かが決断して頑張って実行していくことが必要と思われる。</p> <p>再配置計画は建築物を対象としている。道路等のインフラについては、スライド⑪に今後必要となる費用や財源の見込みについての</p>

	<p>推計を記載している。また、それぞれの計画については、各分野で計画を策定していく予定である。震災を受けた補強の対策や長寿命化を図るための計画などを検討している。再配置計画はやっていかないと市が成り立たなくなるため、40年間で学校2校分規模の削減が必要となっている。集会所の地区への譲渡や学校への公共施設の複合化などを検討している。</p>
市民②	<p>地区で保有している集会施設があり、その地区は町内会費が高くなるため、不公平感がある。これから譲渡を受ける地区は抵抗があるかも知れないが、公平性確保のため、実行していくべきだと思う。</p>
市民③	<p>スライド⑫の試算について、デフレーター、成長率はどの程度の値を想定しているのか？30年後の歳入・歳出の見通しについて、教えて欲しい。</p>
事務局	<p>長期の推計になるため、社会情勢の変化等の不確定要素を見込むことは難しいため、財源の見込みについては、過去5年の実績値の平均を用いている。また、経費の見込みについては、総務省が公表している試算ソフトを用いて算出している。</p>
市民③	<p>スライド⑥の人口推計で年少人口があまり減っていないが正しいか？</p>
事務局	<p>グラフのスケールによりわかりづらいかも知れないが、正しい数値である。</p>
市民③	<p>出生率はどのくらいの値で試算しているか？</p>
事務局	<p>人口の推計については人口ビジョンの値を使っている。具体的な数値は記憶していないが、出生率や流入人口については、政策的な努力により上げていくことを前提とした試算となっている。</p>
市民③	<p>スライド⑭のアンケートで対象者を16才以上とした理由は？</p>
事務局	<p>義務教育を終えた市民として設定している。</p>
市民③	<p>学生達は図書館やスポーツ施設の利用が多いと思われるため、無作為抽出となると偏りがあるのではないか？年齢層別には公平なサンプルとなっているか？</p>

事務局	年齢層別の偏りはない。また、アンケートの信頼度についても確保するだけの回答数を得ている。
市民③	スライド②で統廃合していく施設で、集会施設、文化施設、体育施設などが挙げられているが、地域組織や地縁が薄くなることにつながってしまうのではないかと？市民協働の推進に反し、矛盾を感じるため、慎重に判断して欲しい。
市民②	スライド⑬の予防保全による長寿命化とあるが、これまでは造りっぱなしであったものを転換するための、仕組みが作られているか？
事務局	今までのやり方を続けて行っては不可能との認識で計画を作っており、民間委託などの新たな取組を考えて進めていく。
市民②	庁舎は築 15 年程度でまだ新しいが、いずれは建替えが必要となり、多額の費用がかかるため、将来の子供、孫世代への負担を減らせるように基金を積み立てるなどの考え方の転換はできているか？
事務局	今、取組が始まったばかりであり、将来にわたってどうやっていくかについては、これからの課題と考えている。ここ 10 年で建替えが必要となる施設があるため、これらの検討を通じて、今後、どうしていくかを具体的に考えていきたい。
市民④	公共施設はそれぞれの施設が設立目的、利用者が違うため、それらを一括してかつ 40 年という長い期間の計画を考える必要があるか、疑問を感じる。関わる人々の思いがそれぞれ違うものなのになぜ、このような計画を立てる必要があるか？財源のところで、市税収入は歳入総額の 40～50%、自主財源の占める割合は 60%で県内平均より少ないとあるが、収入を増やす努力をするという考えはないか？自主財源が 60%で低いというのはなぜか？
事務局	施設の老朽化が進んでおり、今後お金が沢山かかるようになる。計画策定の必要性については、財源が不足することが一番大きな理由である。次に、税収を上げる努力については、企業誘致等が必要であり、岩倉市としての余地が小さく計画には見込みづらいと考えている。自主財源の割合については、全国的に見れば良いと思われる。

	<p>るが、今後の経費見込みに対して財源が不足することが課題と考えている。</p>
市民⑤	<p>再配置の取組が進められていることについて、知っている人が少ないと思われるが、より多くの市民意見を取り入れる必要のある内容である。施設の利用者に聞けば必要と答えるし、利用していない人からすれば、税金が上がるならなくす方が良いと考える人がいると思う。今後、再配置計画の取組をどのように周知していくか？広報やホームページでは読まない人や見ない人が多いので、どうやって伝えていくか考えて欲しい。</p>
事務局	<p>今日もＨＰのトップに掲示しているが関心が薄いのが実感であり、媒体を使って周知する方法には限界を感じている。また、庁内の施設担当課の意識が薄いという現状がある。そのため、庁内の施設担当課の意識を変えていくことで、それぞれの施設の利用者などへのアナウンスができると考えている。また、議会では再配置の協議会ができており、庁内の機運を盛り上げていくことで様々な市民に知ってもらうような地道な努力を進めていきたい。説明会は今回だけでなく今後行う予定である。</p>
市民⑤	<p>施設を減らすための最終的なジャッジは誰が行うか？</p>
事務局	<p>市役所で案をつくって、市民の皆さんが納得して決まるものと考えている。</p>
市民⑥	<p>今日の説明会により、いろいろなことを理解することができた。可能であれば出前説明会などをやって欲しいと思う。</p>
事務局	<p>説明会は引き続き行っていくので、今後、様々な機会にいろいろな意見を伺いたいと考えている。</p>